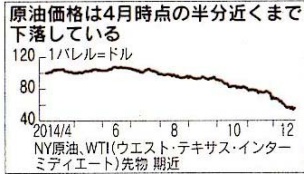


日経産業新聞

2014年(平成26年) 12月26日 金曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

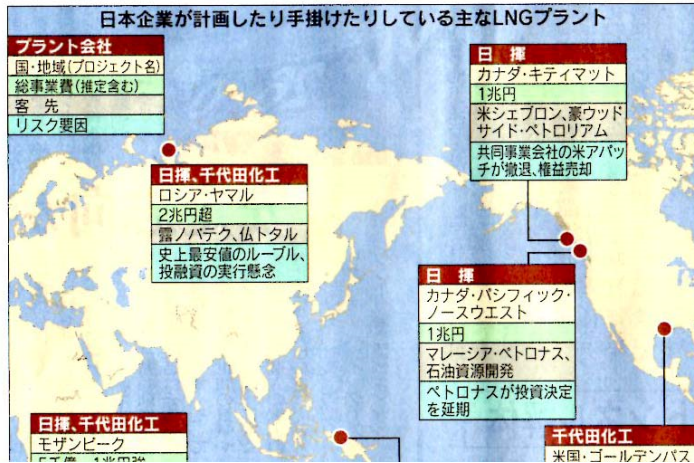


積もる不安材料
そんな中、12月中旬、

「原油安でLNGも余波を被るのでは」。LNGプラントで世界シェア7割を占める双頭の千代田化工と日揮には、ここ3週間ほど、海外の機関投資家や、金融機関などからの問い合わせが絶えない。

理由は11月下旬、石油輸出国機構(OPEC)の減産見送りを引き金につるべ落としとなった原油安だ。シェールガス開発の現場にも波及しており、「ヘンリーハブ」と呼ばれる米国天然ガス価格は12月下旬に100万BTU(英圏熱量単位)当たり33・5ドルと1カ月前の同4・5ドルから大幅に下げた。原油安を引き金に株式市場では日揮と千代田化工が死に返り、12月に入り株価は断続的に年初来安値を更新した。

原油安 絶好調企業も翻弄



千代田化工や日揮、LNG

パークレイズ証券のレポートが市場の話題をさらった。日揮が2月、米石100万とカナダ最大規模のLNGプラントから受注の内示を受けている。日揮とパートナーの千代田化工は、米フルアの事業規模は1兆円に達する。カナダは「2016年3月期、米国に比べ「更地整備や」に100%発注されると、ガスパイプラインの新設を見込んでいたが、30%に引き下げるとの予想を、原油下落の影響を最

も受けやすい証券の境目郡(「ガス」がプロジェクトの毀損しやすいため、基本設

↓日本ウエストンが紹介された記事です。

障がい者雇用で日本ウエストンフィランソロピー大賞

公益社団法人日本フィランソロピー協会(東京)・千代田、高橋陽子理事長)は25日、社会貢献に取り組み企業を表彰する第12回「企業フィランソロピー大賞」を発表した。受賞したのは工業用雑巾(ウエス)やタオルのクリーニングを手掛ける日本ウエストン(岐阜県岐阜市、臼井麻紗社社長)で、障がい者雇用や環境に配慮した排水処理技術が評価された。

特別賞には展開するファミレス「びっくりドンキー」で食品廃棄物を有機肥料に処理しているアレフ(札幌市)など3社が決まった。